

3月下旬取次搬入予定

A5 判・並製 296 頁
定価：本体 3,000 円＋税

日本の東アジア投資100年史

【横浜市立大学新叢書14】

金子文夫 著



100 年間の日本－東アジア経済関係とは どのようなものだったのか？

グローバル化の進展とともに、地域市場統合の動きが目立つ 21 世紀の世界経済。

東アジア経済圏においては、それを主導する国家は日本から中国へと転換しつつある。そのような現況を背景に、本書では、1910 年代から 2010 年代に至る日本の東アジアへの投資活動を各資料から考察する。

◇目次より

序章 課題と視角

第 1 章 第一次大戦期の対外拡張—1910～1924 年

第 2 章 満州事変と円ブロックの形成—1925～1936 年

第 3 章 「大東亜共栄圏」の形成と展開—1937～1945 年

第 4 章 高度成長期の東アジア進出—1950～1973 年

第 5 章 経済大国期の東アジア経済圏形成—1974～1990 年

第 6 章 低成長期の東アジア経済圏再編—1991～2019 年

終章 総括と展望

◇著者紹介

金子文夫（かねこ・ふみお）

横浜市立大学名誉教授 専攻：国際経済史

主な著作に『近代日本における対満州投資の研究』（近藤出版社、1991 年）、『トヨタ・イン・フィリピン』（共著、社会評論社、2008 年）、『韓国経済発展の始動』（共編著、日本経済評論社、2018 年）など。

日本の東アジア投資 100 年史 金子文夫 著	貴 店 名	印
定価（本体価格 3,000 円＋税） ISBN978-4-86110-804-4 C0033 ￥3000E 【発行・発売】 春風社 〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 53 横浜市教育会館 3F TEL 045-261-3168 FAX 045-261-3169 http://www.shumpu.com E-mail: info@shumpu.com		冊